

「高騰ショック」 価格転嫁できず 88.1%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「原材料価格の上昇」の162社。2位が「需要の停滞」の126社。「従業員の不足」が55社で3位。
- ★ 「現在の雇用人員」について、142社（55.0%）が「適正」と回答したのに対し、「不足」は107社（41.5%）と人手不足感が強くなっている。「過剰」と回答したのはわずか9社（3.5%）。
- ★ 「原材料費の高騰や原油価格高騰の影響」について、約9割にあたる232社（89.6%）が「影響がある」と回答。「影響はない」は1割の27社（10.4%）。

令和4年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

令和4年6月に実施した第129回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。

本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が129回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は262社（小売業77社、卸売業30社、製造業38社、建設業58社、運輸・交通業15社、観光・サービス業44社）で回収率は52.4%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲14.2と、3ヶ月前の前回調査から改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が1.5%、「やや好転」が20.7%で、逆に「やや悪化」が28.4%、「かなり悪化」が8.0%だった。売上DIも▲27.8から18.6ポイント改善し▲9.2。採算DIも11.7ポイント改善し▲29.6。原材料（商品）仕入価格は64.7から79.4とさらに上昇。前期（1～3月）がまん延防止等重点措置期間だったため、その反動で数字的には改善しているものの、原材料の物価高や商品、部品不足の影響も目立った。

今回事業所に対し、「原材料費の高騰や原油価格高騰の影響について」と尋ねたところ、「影響なし」と回答したのはわずか10.4%（27社）で、89.6%（232社）が「影響がある」と回答した。「影響がある」と回答した232社のうち「全く価格転嫁できていない」が最も多く、28.5%で65社。「2割程度できている」14.0%（32社）と「5割程度できている」25.4%（58社）を合わせ、約7割（67.9%）が原材料費、原油価格高騰による値上がり分の半分以下しか転嫁できていない。「8割程度できている」20.2%（46社）を含めても、約9割（88.1%）が十分に価格転嫁できていないのが現状。業種別でみると、運輸・交通業と観光・サービス業では「全く転嫁できていない」と回答した割合がそれぞれ53.8%（7社）と41.7%（15社）と高く、特に運輸・交通業では、値上がり分に対し5割以上価格転嫁できた事業所はなく、原油価格高騰の影響が経営に重くのしかかっている。

企業努力でのコスト吸収はすでに限界を超えており、今後は原材料等のコスト上昇に見合った価格転嫁に対し、取引先や消費者の理解が必要であり、適正な価格転嫁が進まないと地域経済を支える中小・小規模事業者はさらに厳しい状況下におかれる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

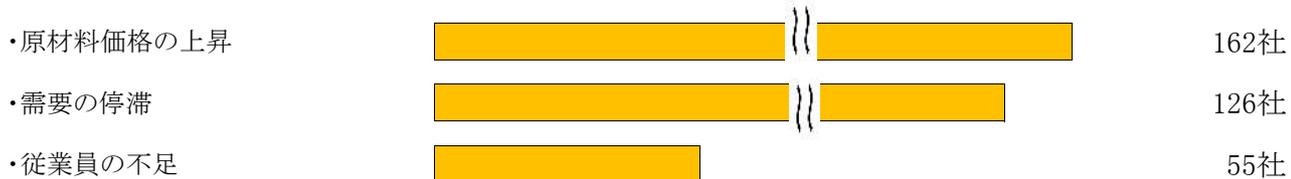
業況は、全業種合計で今期▲14.2。業種別では、建設業を除く5業種で改善。運輸・交通業（▲47.1→▲13.3）と観光・サービス業（▲63.6→14.0）で大幅改善したが、まん延防止の反動との声が多かった。

売上は、全業種合計で今期▲9.2。業種別では、小売業、卸売業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で改善。主な要因は、まん延防止等重点措置の解除やコロナが落ち着きつつあること、原油・原材料費等高騰前の駆け込み需要などが挙げられた。

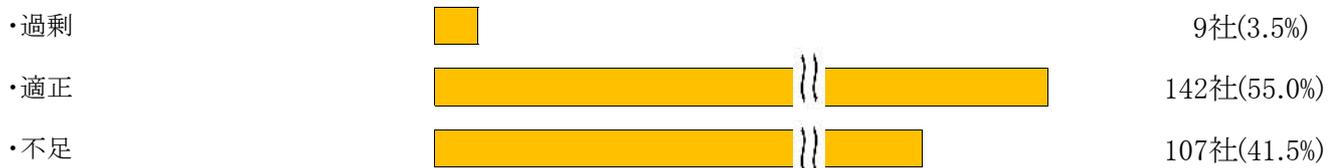
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期79.4。原油価格高騰のみならず、ありとあらゆるものが値上がりし、すべての業種に影響を及ぼしている。

採算は、全業種合計で今期▲29.6。売上同様、小売業、卸売業、運輸・交通業、観光・サービス業の4業種で改善したが、仕入コスト上昇などにより、全体的に改善幅は小さい。

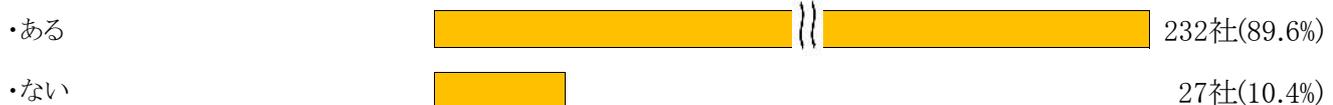
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



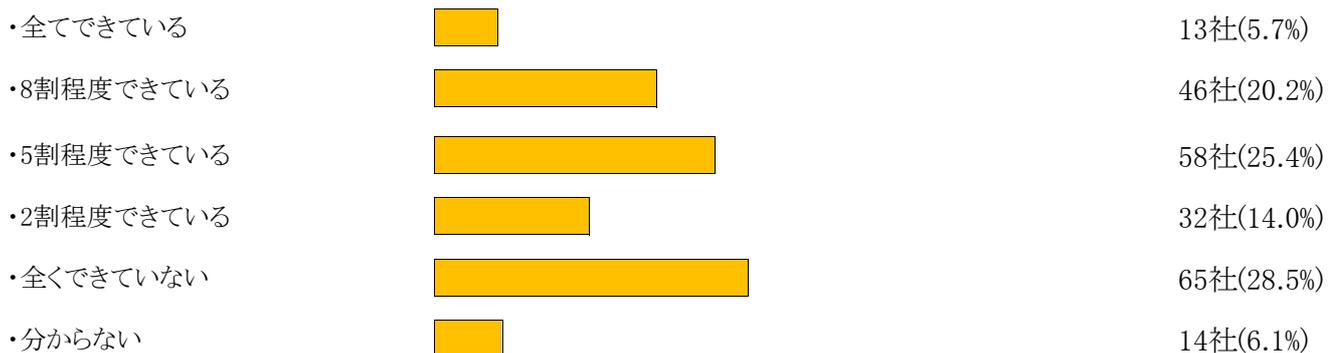
【現在の雇用人員についてどのようにお考えでしょうか？】



【原材料費の高騰や原油価格高騰の影響はありますか？】



【影響がある方にお伺いします。価格転嫁は出来ていますか？】



【半年前(2022年1月)と比べ、対面での会議や出張、家族以外の人との会食や外出などは増えましたか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 14.2	▲ 21.2
小売業	▲ 24.7	▲ 22.1
卸売業	3.3	▲ 17.2
製造業	▲ 21.1	▲ 15.8
建設業	▲ 25.9	▲ 31.0
運輸・交通	▲ 13.3	▲ 20.0
サービス業	14.0	▲ 14.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 9.2	▲ 20.0
小売業	▲ 14.7	▲ 22.7
卸売業	10.0	▲ 6.7
製造業	▲ 31.6	▲ 21.1
建設業	▲ 24.1	▲ 27.6
運輸・交通	▲ 13.3	▲ 13.3
サービス業	27.3	▲ 15.9

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

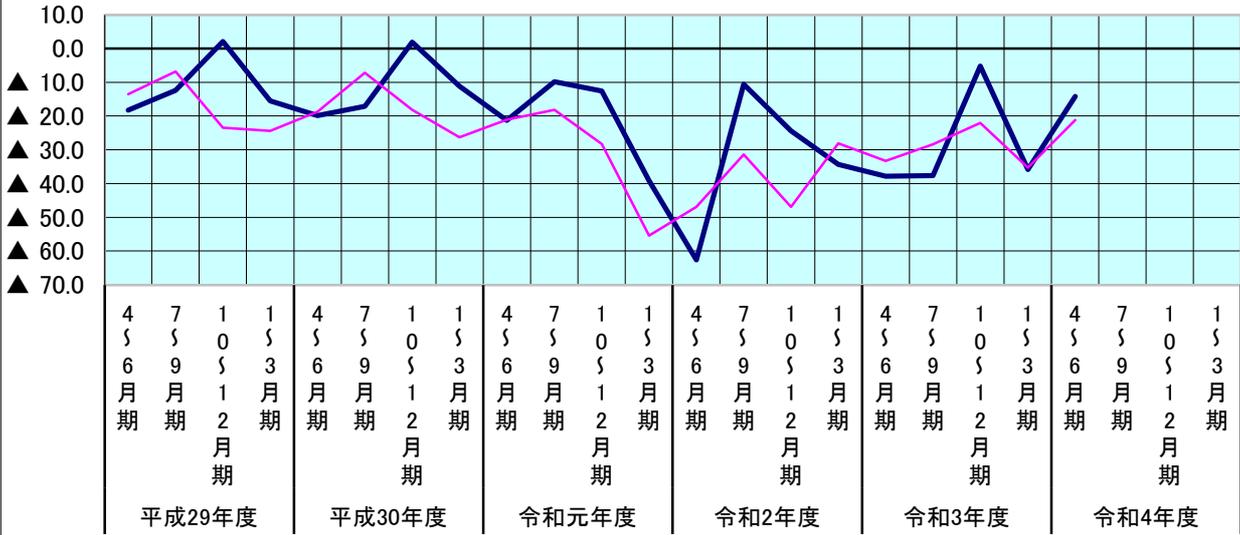
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 29.6	▲ 34.6
小売業	▲ 31.6	▲ 42.1
卸売業	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業	▲ 50.0	▲ 23.7
建設業	▲ 43.1	▲ 44.8
運輸・交通	▲ 33.3	▲ 40.0
サービス業	2.3	▲ 27.9

(好転割合－悪化割合)

全業種

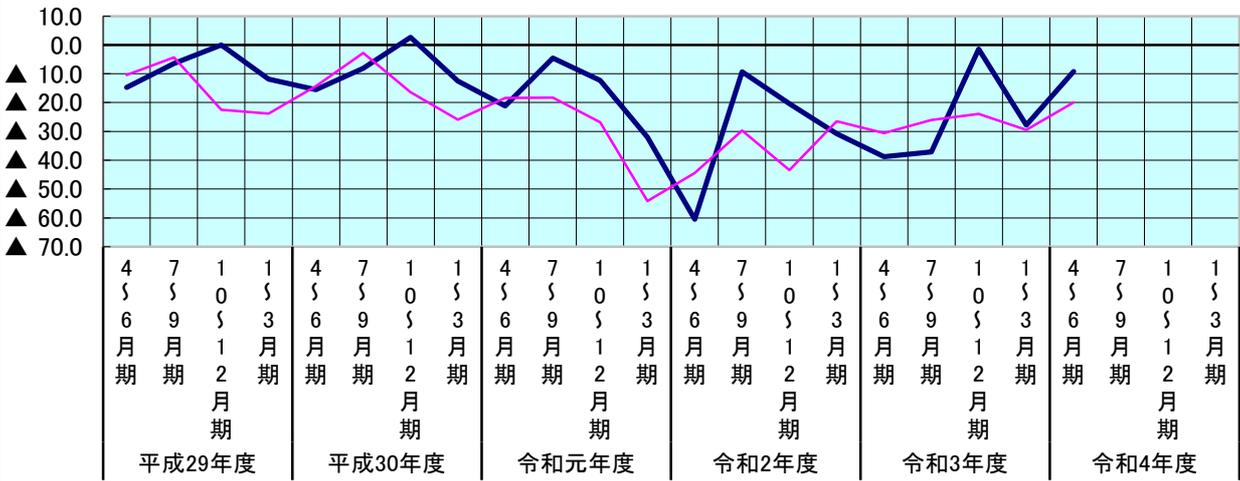
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



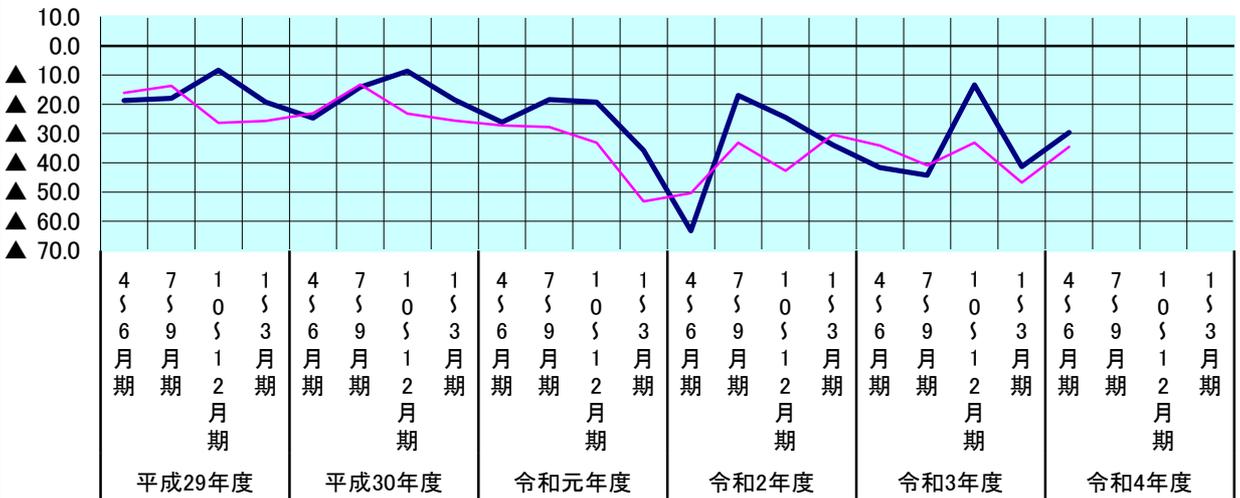
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し



採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7～9月 見 通 し			

景気天気図の説明

